



今月の注目データ

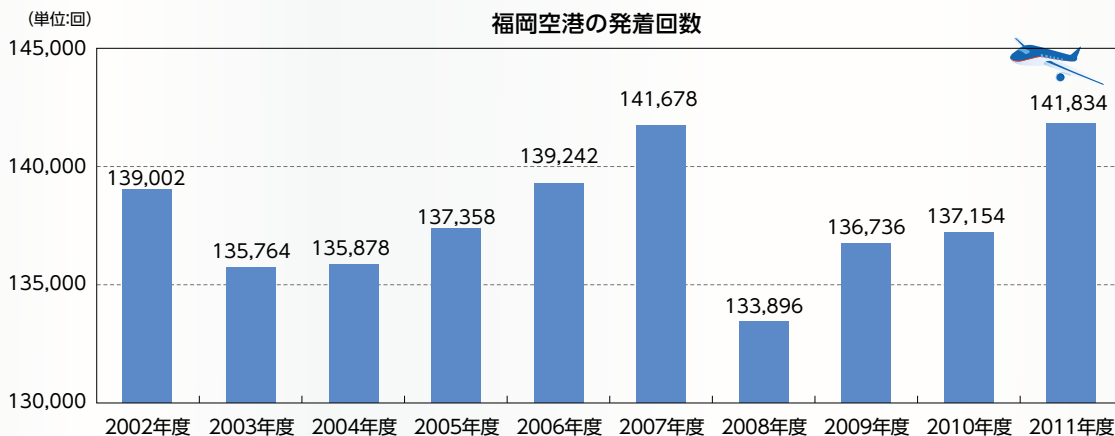




福岡空港の発着回数

地下鉄で博多から5分、天神から10分。都心部からのアクセスがとて便利な福岡空港は、毎日多くの方々に利用されています。リーマンショック直後に減少した発着回数はその後増加傾向で、2012年度には、相次いで就航したLCCの効果もあり過去最多が予想されています。また、福岡空港の発着回数は、羽田（384,716回）、成田（188,572回）に続く国内第3位、滑走路1本あたりでは全国一を誇ります（滑走路数：羽田4本、成田2本、福岡1本）。

2013年4月からは、KLMオランダ航空により、ヨーロッパ・福岡間初の直行便就航が予定される他、滑走路増設に向けた動きも本格化する等、福岡空港はこれからも九州の空の玄関口として、更なる利便性向上と発展が期待されます。

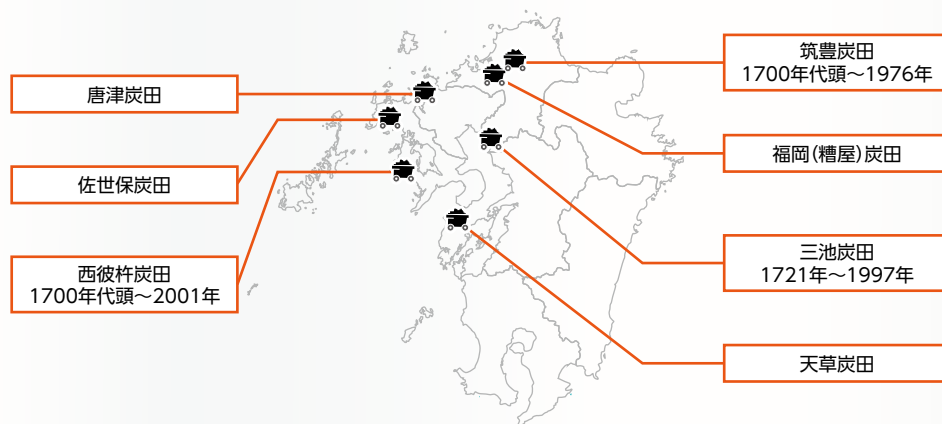


(出所：国土交通省「暦年・年度別空港管理状況調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)
※「発着回数」は、空港管理状況調査における「着陸回数」の2倍として算出。

九州の炭田

かつて九州には筑豊（福岡県）、三池（福岡県）、西彼杵（長崎県）等、多くの炭田が存在し、北海道と並ぶ石炭生産地として戦後日本の高度成長を支えてきました。しかし、1958年頃からはじまったエネルギー革命（いわゆる「石炭から石油へ」という流れ）や、海外からの安い石炭の輸入増加等の影響を受けて、九州の炭鉱は相次いで閉山に追い込まれました。そして2001年に西彼杵炭田の池島炭鉱が閉山したことで、九州の石炭生産の歴史は幕を閉じました。

それでも、九州には官営八幡製鉄所（現、新日鐵住金株式会社八幡製鉄所）をはじめ、石炭生産をきっかけに生まれ育った企業や産業が数多く存在しています。また、現在北九州市で石炭火力発電の最先端技術の実証実験が実施中である等、九州は今でも石炭関連分野の先進地域として日本の発展に貢献しています。



(資料) 各種資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成
※筑豊、三池、西彼杵炭田の生産開始・終了年については、それぞれ直方市石炭記念館HP、大牟田市作成資料、九州・山口の近代化産業遺産群HPを参照

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかながらも、持ち直しの動きが見られる

生産活動は、鉄鋼の増産により、総合指数が2ヵ月連続で上昇する等、緩やかながらも持ち直しの動きが見られます。

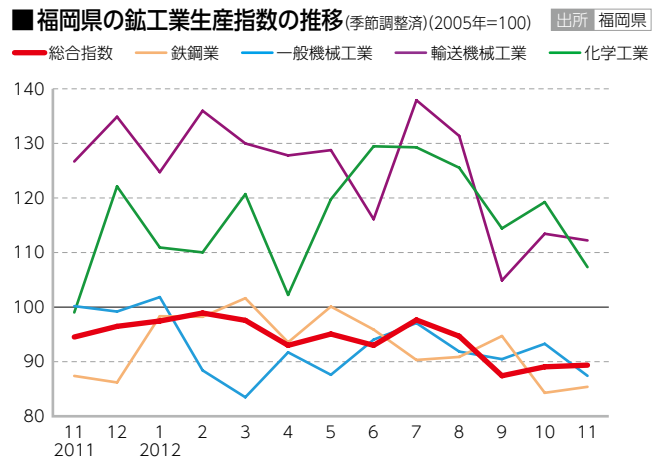
消費面では、大型小売店販売額が2ヵ月ぶりに前年を下回りましたが、住宅建設は消費税増税を意識した着工増加により好調を維持しており、また、公共工事も増加の動きが続いています。

福岡県の景気は、堅調な住宅建設や公共工事を背景に、総じて緩やかながらも持ち直しの動きが見られます。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で上昇

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は89.3となり前月比0.4%上昇しました。

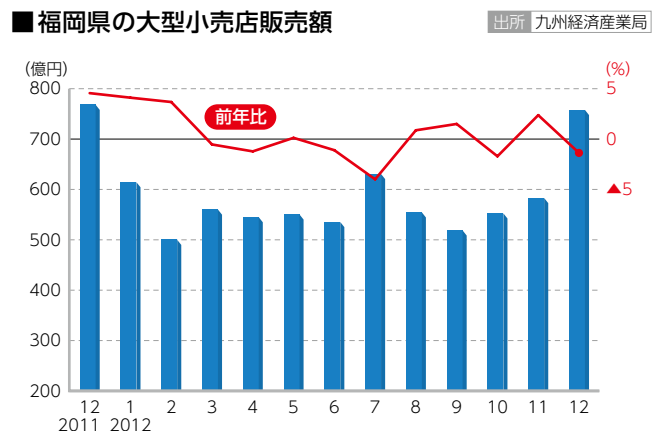
主要業種では、中国向けの自動車関連の輸出の落ち込みの影響が続いている輸送機械や、自動車部品用素材が減産となった化学等が低下した一方、生産設備の大型補修工事の終了により増産となった鉄鋼が上昇しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の大型小売店販売額は、前年同月比1.3%減の758億円と、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

主力の衣料品は好調だった前月の勢いが続かず、当月は前年実績を下回った他、飲食料品の動きも鈍く、全体的に低調に推移しました。





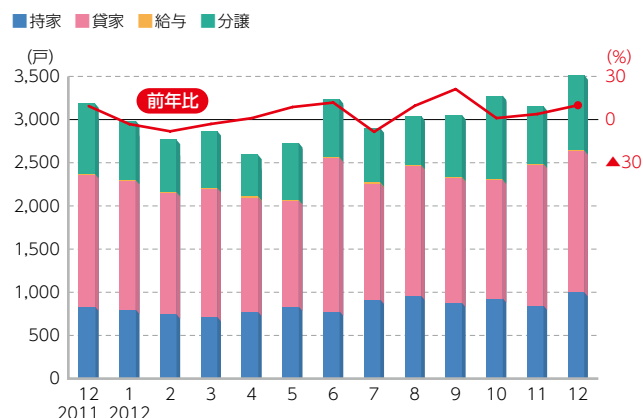
3.住宅建設 | 5ヵ月連続で前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、3,514戸と前年同月比10.3%増加し、5ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」「貸家」を中心に、消費税増税前の駆け込み需要を意識した着工により好調を維持しています。また、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数でも、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きが続いています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



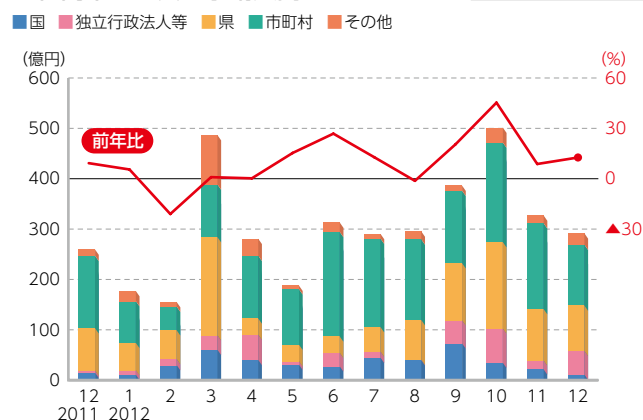
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比0.2%減の1,079件、金額は同12.3%増の291億円となり、請負金額は4ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、高速道路や大学施設関連の大型案件があった「独立行政法人等」が大幅に増加した他、「県」「その他」も前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



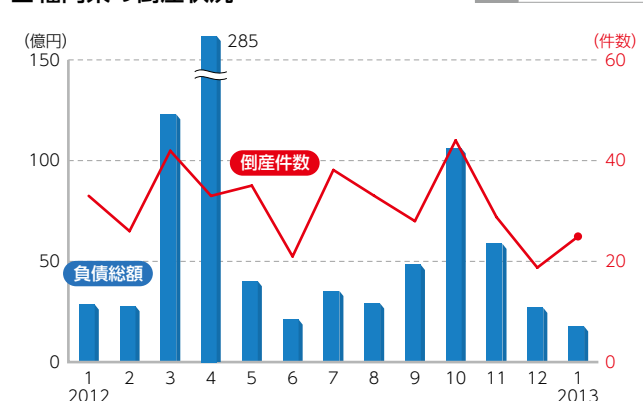
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

1月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比24.2%減の25件、負債総額が同37.8%減の約18億円となりました。

サービス業において販売不振等を原因として1億円以上の倒産が3件発生したものの、負債総額、件数ともに前年を下回っています。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 総じて横ばいで推移している

生産活動は、電子部品・デバイス等が好調である一方で、二輪車関連の減産により輸送機械の生産が低迷する等、一部に弱さが見られます。

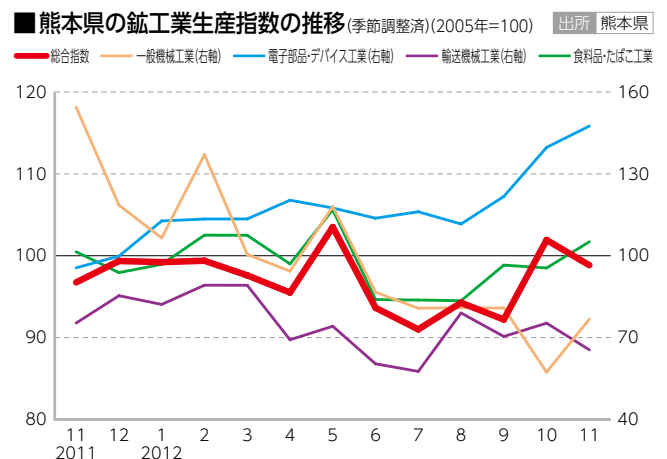
住宅建設は、分譲マンションの着工減少等により、前年を下回った他、消費面でも、大型小売店販売額が、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

熊本県の景気は、堅調な公共工事等、一部に明るさに見えるものの、総じて横ばいで推移しています。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.8となり、前月比2.9%低下しました。

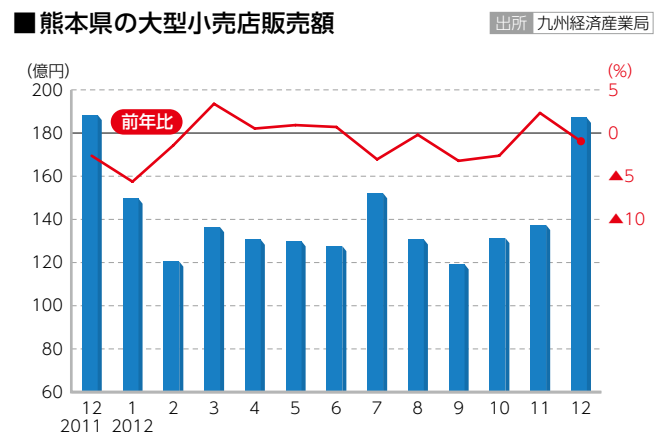
主要業種では、スマートフォン向け集積回路の生産が好調な電子部品・デバイス等が上昇したものの、二輪車関連で低水準の生産が続く輸送機械が低下しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%減の187億円と、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

飲食料品は前年並みを維持したものの、主力の衣料品は冬物を中心に売上が伸び悩み、全体では前年を下回りました。



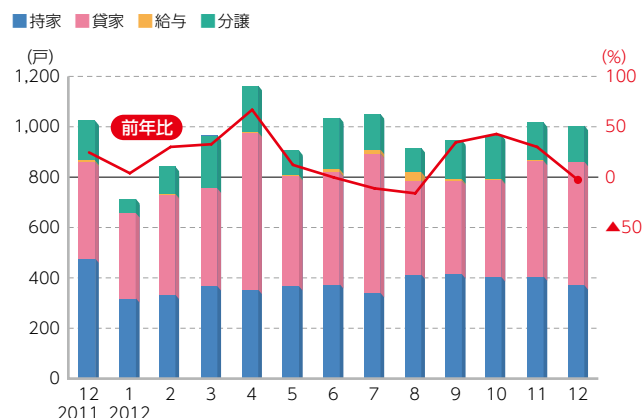
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、1,004戸と前年同月比2.0%減少し、4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

「貸家」は消費税増税前の駆け込み需要を意識した着工により増加した一方、「分譲」はマンションの着工が減少した他、「持家」も前年同月に大型分譲地で着工が好調だった反動の影響が見られ、全体でも前年を下回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



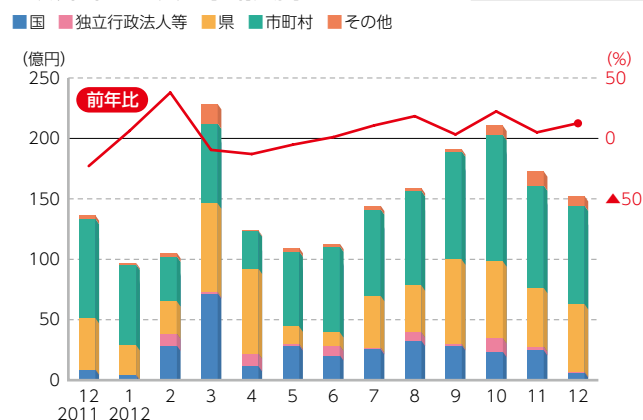
4.公共工事 | 7ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比8.5%増の931件、金額は同11.7%増の152億円となり、請負金額は7ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、「市町村」が前年並みの水準を維持した他、「県」「独立行政法人等」「その他」も前年を上回る等、全体として好調に推移しました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



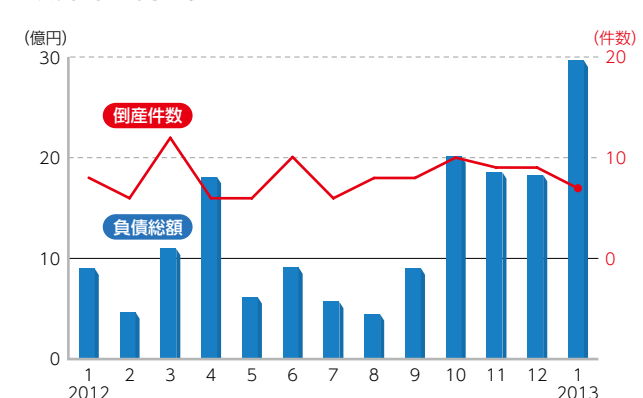
5.企業倒産 | 大型倒産発生により、負債総額は大幅に増加

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比12.5%減の7件、負債総額が同231.1%増の約30億円となりました。

地元工業団地運営等を行っていた運営会社で約28億円の大型倒産(破産手続き開始)が発生し、負債総額は前年を大幅に上回りました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 総じて横ばいで推移している

生産活動は、一般機械、食料品が好調で総合指数は2ヵ月ぶりに上昇しましたが、輸送機械では新造船が減産する等、一部に弱さが見られます。

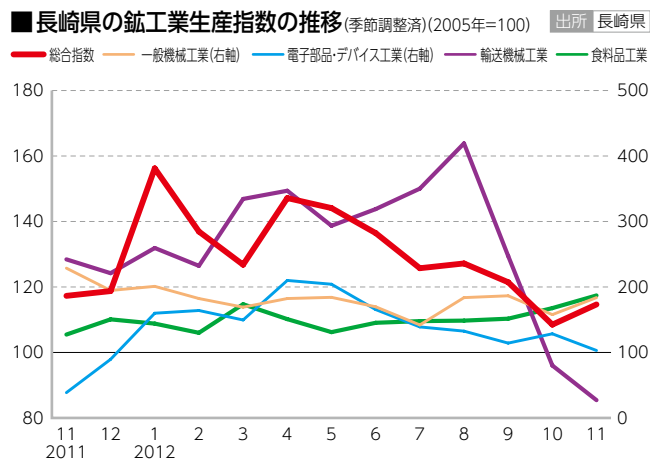
消費面では、大型小売店販売額が前年を下回ったものの、住宅建設は消費税増税前の駆け込み需要を意識した着工により好調に推移しました。

長崎県の景気は、堅調な住宅建設等、一部に明るさに見えるものの、総じて横ばいで推移しています。

1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに上昇

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は114.8となり、前月比5.6%上昇しました。

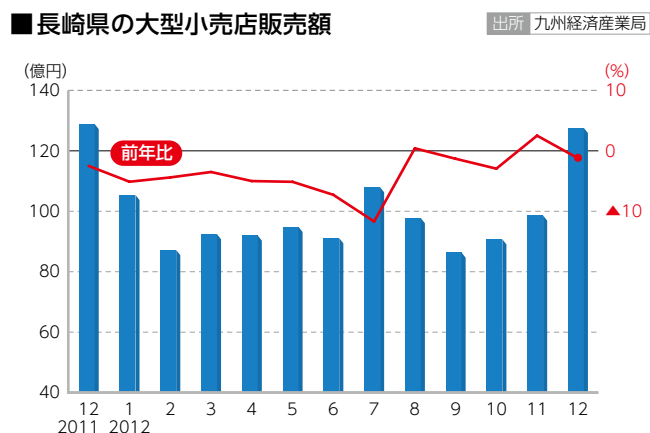
主要業種では、輸送機械で新造船が厳しい受注環境と既存の受注残の減少を背景に減産が続く一方、新興国の発電プラント向けボイラー・タービン等が増産となった一般機械、及び食料品が上昇しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の大型小売店販売額は、前年同月比1.2%減の127億円と、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

飲食料品は鍋物関連等が好調で前年を上回ったものの、主力の衣料品は低調に推移し、全体では前年を下回りました。





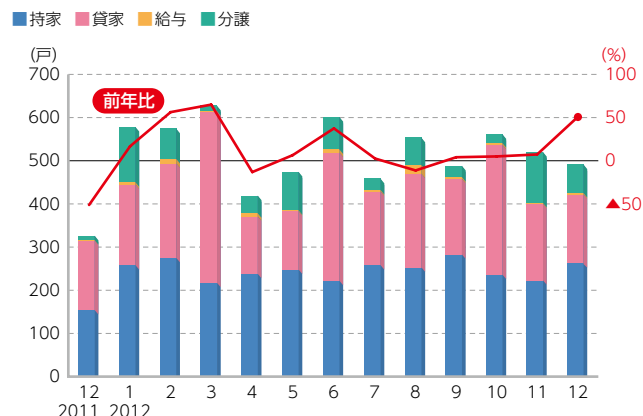
3.住宅建設 | 4ヵ月連続で前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、491戸と前年同月比50.6%増加し、4ヵ月連続で前年を上回りました。

「貸家」は前年並みの水準にとどまったものの、「持家」「分譲」が消費税増税前の駆け込み需要を意識した着工により好調に推移しました。また、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数で、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きが続いています。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



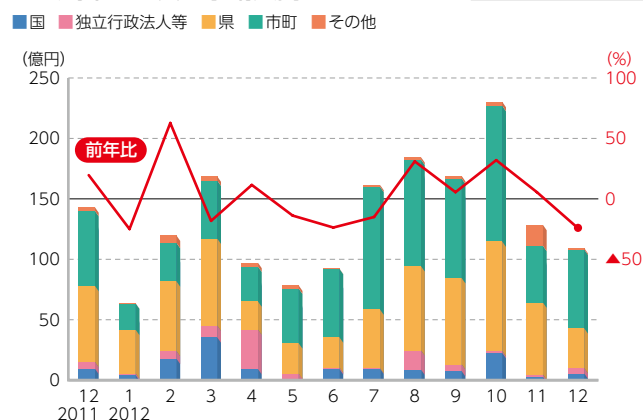
4.公共工事 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比2.9%減の476件、金額は同23.7%減の109億円となり、請負金額は5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、病院施設建築工事等の大型案件があった「市町」以外のすべての発注者で前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



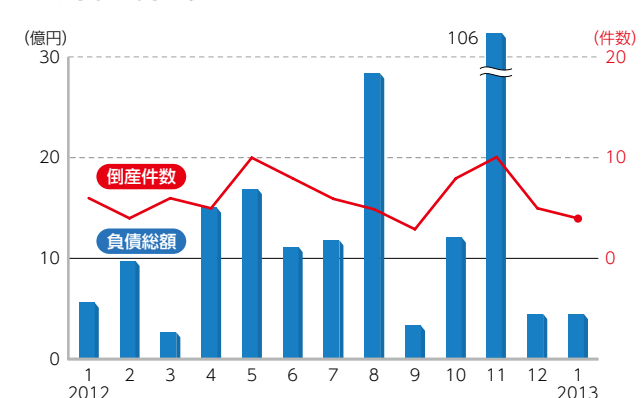
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の4件、負債総額が同19.5%減の約4億円となりました。

不動産賃貸業で約4億円の倒産があった他は、大型倒産の発生はなく、負債総額、件数ともに前年を下回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 弱含みで推移している

生産活動は、一般機械、食料品が減産となる等、弱い動きが見られ、総合指数においても100を下回る水準が続いています。

公共工事は3ヵ月連続で前年を上回る等、増加の動きを続けていますが、消費面では、大型小売店販売額が前年を下回った他、住宅建設も2ヵ月連続で前年を下回りました。

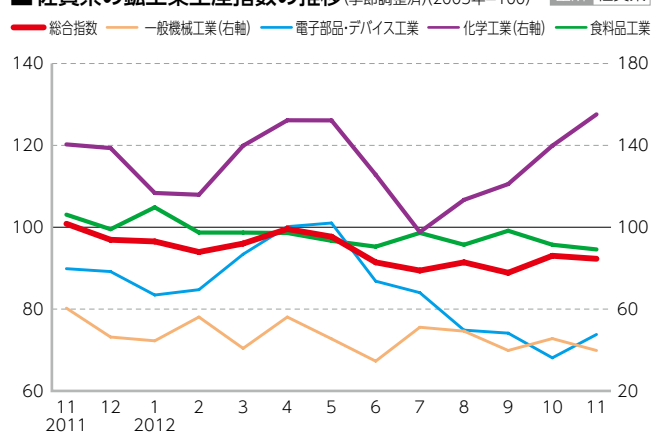
佐賀県の景気は、総じて弱含みで推移しています。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.1となり、前月比0.9%低下しました。

主要業種では、医薬品が増産となった化学が4ヵ月連続で上昇した他、電子部品・デバイスも上昇しましたが、土木建設機械の落込みが大きい一般機械、及び食料品が低下しました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 佐賀県



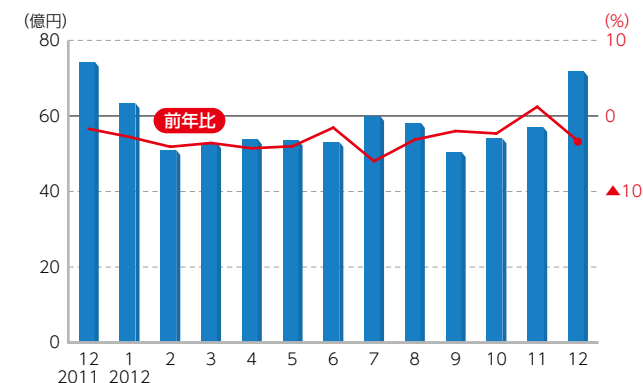
2.大型小売店 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の大型小売店販売額は、前年同月比3.3%減の72億円で、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

主力の衣料品、飲食料品ともに動きが鈍く、全体的に売上は低調に推移しました。

■ 佐賀県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局





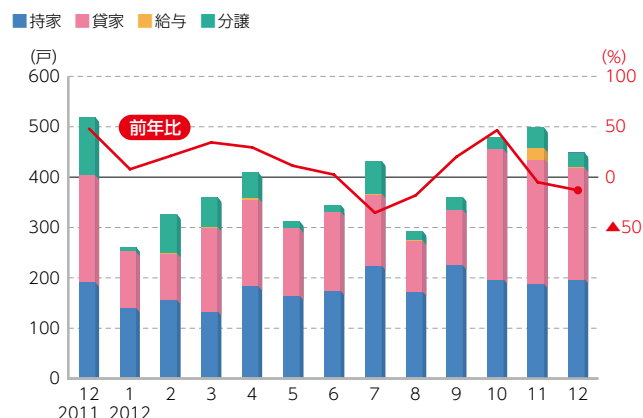
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、449戸と前年同月比13.3%減少し、2ヵ月連続で前年を下回りました。

「持家」「貸家」はほぼ前年並みの水準となりましたが、「分譲」は前年同月にあったマンション着工が今月はなかったことから大幅に落ち込み、全体でも前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



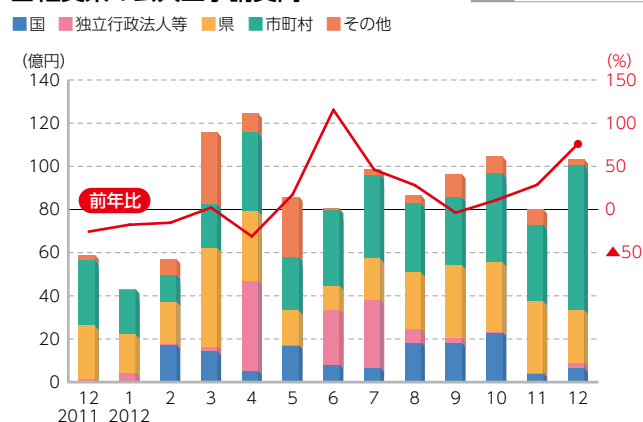
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比25.4%増の351件、金額は同75.2%増の103億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、学校改築工事等の大型案件があった「市町村」が増加した他、「国」「独立行政法人等」「その他」も前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

1月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比60.0%減の2件、負債総額は同93.1%減の約2億円となりました。

海運業で販売不振を原因とする約2億円の倒産が発生した他は、大型倒産の発生はなく、負債総額、件数ともに前年を下回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

